

すべての子どもたちが自分らしく学べる教育環境の確立に向けた提言書

本市においては、不登校児童生徒の増加や発達特性に起因する学習や生活上の困難など、多様な課題を抱える子どもたちへの支援の必要性が高まっている。これらの課題は、単に教育にとどまらず、家庭環境や子どもの心身の状況等が密接に関係しており、子ども一人ひとりに応じた丁寧かつ継続的な支援が求められる。

現状として、教育支援センターの環境整備や認知度、校内フリースクール等における人材不足、専門職の関与が限定的であること、保護者支援の不足など支援体制に課題がある。また、教育・福祉の連携や、早期支援体制の構築についても更なる強化が求められる。

こうしたことを踏まえ、以下の点について提言する。

なお、本提言に対する取り組みについては、適宜、議会に報告を行うよう求める。

1. 専門職人材の確保及び活用について

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに加え、作業療法士、言語聴覚士等の専門職人材の確保を図るとともに、その積極的な活用を推進されたい。

2. 包括的で切れ目ない支援体制の構築について

教育部局・福祉部局が一体となり、発達特性や学習上のつまずきなどを早期発見するとともに早期支援につながる仕組みを整え、就学前からの包括的で切れ目ない支援体制の構築を図られたい。

令和8年5月25日

宮津市長 城崎 雅文 様

宮津市議会議長 松 浦 登美義